

1月12日(水)学校説明会で会いましょう。 東京建築カレッジで学べる就職先も紹介

カレッジ通信

編集・発行
東京建築カレッジ

授業見学
大歓迎！
TEL 03
(5950)
1771

東京建築カレッジ

第27期生募集

2022年4月入学生

第5回入学選考会は
1月26日(水)

応募締め切り1月21日(金)



第6回入学選考会は
2月22日(火)

応募締め切り 2月18日(金)

入学願書など応募書類の取り寄せはお早めに！本校の就職支援は応募後に始まります。本校入学を保障する就職あっせんをご希望の方は早期に応募をお願いします。

意欲あふれる新人を採用・育成したい中小事業主の皆様もお気軽にご連絡ください。



東京建築カレッジ
学校紹介はこちら ↑

お問い合わせ・入学相談は
☎03-5950-1771
東京土建技術研修センター内、
東京建築カレッジ

学校説明会は池袋校舎で、午後2時から・午後7時から
ご参加希望の回を事前にご連絡ください。

☎電話03-5950-1771 東京土建技術研修センター内 建築カレッジ係

事業主向けに国の助成金の説明も

- ・ 学校の性格、運営母体、学費について
- ・ 教育理念と学習目標
- ・ カリキュラムの特徴
- ・ 授業の流れ（学校紹介動画で紹介）
- ・ 施設見学
- ・ 本校と提携する就職先の紹介
- ・ 研修生派遣事業主のための国の助成金
- ・ 質疑応答、入学相談コーナー

学校説明会の内容

東京建築カレッジ2022年4月入学生募集は、入学選考会があと2回となりました（左囲み参照）。本校での2年間の研修生生活は一人ひとりの人生にとってかけがえのないものになります。迷っている皆さん、ぜひ、学校説明会に参加して貴重な学びの内容を知ってください。皆さんの決意と頑張りをおカレッジは全面的に応援します。

新入社員、お子さん・お孫さんに、
建築の仕事の魅力、やりがいを
カレッジで学んでもらいたい



12月17日～20日、東京ビッグサイトをメイン会場に開催された「第59回技能五輪全国大会」の建築大工職種で、東京建築カレッジ 第23期生 関根祥智さん（足立区「匠・林工務店」所属の建築大工）が技能五輪全国大会のグランプリ（最高位）金賞を受賞しました。本校の卒業生、在校生が技能五輪全国大会で金賞を受賞するのは初めて。

（裏面につづく）

技能五輪全国大会（建築大工）
本校初のグランプリ（最高位）金賞
第23期生 関根祥智さん
「匠・林工務店」 足立区

技能五輪全国大会で金賞 競技課題22個製作の猛練習で

今回の技能五輪全国大会 建築大工職種は、59人がエントリー、1人欠場のため、58人で競われました。強豪校である住友林業やボラスグループの職業訓練校からそれぞれ複数の有力選手が出場する中、関根さんの作品の完成度がそれらを上回り、金賞の栄冠に輝きました。

東京建築カレッジと母体の東京土建一般労働組合は、関根さんの2か月に及ぶ強化訓練を全面的に支援し、物心両面で関根さんの頑張りを支援してきました。ご声援を送っていただいた、すべての皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

これで終わりではなく、 ここからが始まり

関根 祥智さんから

まずは技能五輪大会にかかわってくださったカレッジの先生方、先輩、事務局の方々、2か月間支えてくれた両親や彼女、何よりも大会に送り出してくれた親方に感謝の気持ちを伝えたいです。

メダルや賞状がまだ手元にないので金賞を取った実感はあまりないのですが、とっとうれしいのは確かです。これで終わりではなく、ここからが始まりだと思って、これからも頑張りたいと思います。



作品と一緒に両親と記念撮影（12月19日）

2年生の 授業から

卒制プレ発表会

第25期生
(2年生)
の卒業制作プレ発表
会が12月25日、行わ



「陽だまりの小屋」班の発表

れました。在籍10人のため、「椅子」班、「キッチン」班、「陽だまりの小屋」班の3班ですが、構想から施工・完成まで建築生産の流れを体験する大切な教育実践です。

卒制は2年次の4月から始まり、夏ごろに構想を固め、夏ごろに製図、材料拾いと発注、施工の準備、工程管理、組織運営、プレゼンテーションなどと学ぶ内容は多岐にわたります。小さなゼネコンをつくり運営する教育実践と言っても良いでしょう。

今回のプレ発表会では、社寺建築に見られる伝統技法を学び応用した建築物をつくりたいと計画的に作業を進めてきた「陽だまりの小屋」(葛西佳一リーダー)の努力が評価され、あとの2班は遅れの挽回へこれからが

1年生の 授業から

CAD授業始まる

正念場です。
卒業制作発表会は
3月5日(土)午後

です。参加人数を制限して公開で開催する予定です。



パソコンが苦手な人でも安心していねいに教えます。

第26期生(1年生)の授業は、CAD(コンピューター支援設計)の授業が始まりました。建築の共通言語は図面、今はパソコンによる製図、メー

ルなどにより取りが当たり前。CADが使えないと施工者であっても不都合があります。そこでフリーソフトのJWCADは最低限使えるようにする基礎教育をカレッジでは行っています。



仲間と一緒にだから学習意欲が持続します